



PlayPoint ネットワークブリッジ

DSD 12.288MHz | DXD 32bit - 352.8kHz | PCM 32bit - 384kHz | Stereo | 8 Channel

オーナーズマニュアル

使用前にお読みください



REV. 1.0.0f -07/2016

目次

安全上のご注意	1
グラフィックスシンボルの説明	1
重要な安全上のお願い.....	1
ご注意	2
ようこそ	4
お使いになる前に	5
パッケージ内容.....	5
適切な設置方法.....	5
概要.....	6
Playpointの使い方.....	7
フロントパネルおよびリアパネル.....	9
クイックスタート	10
デバイス情報	13
Zero-Configuration ネットワーク機能	14
ワイヤレス・プロトコル・セットアップ (WPS) 設定	15
有線LANと無線LANの切り替え	17
無線LAN機能非搭載モデルの設定	18
マルチルーム設定	19
スクリーンセーバー設定	20
DAC自動電源オフ機能	21
ファームウェアアップデート.....	22
リモートサポート	24
ボリューム調整	25
外部USBメモリハードディスクの使い方	27

PlayPointのサーバー領域とUSBメモリ/ハードディスクの参照方法	29
仕様.....	30
オープンソースに関する表示.....	32
製品保証書	

安全上のご注意

グラフィックスシンボルの説明

	正三角形中の矢印の着いた稲妻は、製品の筐体内に人体に危険なレベルの感電を及ぼす可能性のある絶縁されていない「危険な電圧」が存在することをユーザーに警告するためのものです。
	正三角形中の感嘆符は、この機器に付属する説明書に、操作や管理（修理）に関する重要な指示があることをユーザーに知らせるためのものです。

重要な安全上のお願い

1. この説明を読んでください。
2. この説明を保管しておいてください。
3. すべての注意点に気をつけてください。
4. すべての指示に従ってください。
5. 本装置を水のそばで使用しないでください。
6. 乾いた布で汚れを拭き取ってください。
7. 通風口をふさがないようにください。マニュアルの指示に従って設置してください。
8. 暖房用ヒーター、暖房送風機、ストーブ、その他アンプ等を含む熱源のそばに設置しないでください。
9. 極性や接地があるプラグの安全性を無効にしないでください。極性のあるプラグは、一つの端子の幅が他のプラグより広がっているものです。接地のあるプラグは、二つの平たい端子と一つの接地端子があるものです。幅広の端子や三番目の接地端子は、安全のためのものです。プラグがお使いのコンセント形状に合わない場合には、電器店に旧型コンセントの交換を相談するようにしてください。
10. 電源コード（特にプラグ、コンセント、機器との接続部分）が踏まれたりつぶされたりしないように保護してください。
11. メーカーが指定した付属品やアクセサリのみを使用するようにしてください。
12. 修理は指定された修理業者に依頼してください。電源のコードやプラグの破損、液体の付着、落下物による損傷、雨や水分との接触、異常動作、落下等、損傷を受けた場合には修理が必要となります。

ご注意

- AC 電源コードを機器に接続する前に、電源アダプターの電圧指定がお使いの地域の供給電圧と一致することを確認してください。供給電圧が不明の場合には、電力会社に問い合わせてください。対応電源入力は、AC ~ 100V - 240V、50/60Hz です。
- 本機器の電源が切られていても、コンセントに接続されている間は AC 電源から電力が供給されています。
- 本製品を長期間使用しない場合には、電源アダプターをコンセントから抜いてください。電源アダプター本体を持ってコンセントから抜くようにし、コードを持って引き抜かないでください。
- 電源アダプターは電源遮断の手段としての役割も持ちますので、プラグは抜きやすい状態にしておきます。
- 適切な通気を確保するために、本製品をソファ、ベッド、絨毯の上で使用しないでください。
- 本製品は高温で異常な動作をすることがあります。本製品や電池を直射日光の当たる場所や、熱源のそばに置かないでください。
- 本製品を寒い場所から暖かい場所に移動したり、逆に暖かい場所から寒い場所に移動すると、製品中のコンポーネントが結露することがあります。このような場合、正常動作しないことがありますので、露が蒸発するまで 1、2 時間程度待ってから電源を入れるようにしてください。

	<p>警告:</p> <p>感電や火事の危険性を軽減するため、本機器を雨や水分にさらさないでください。筐体内に危険な高電圧が存在することがあります。キャビネットを開けないでください。修理は資格のある専門家にお任せください。本機器に水がかかったり濡れたりしないようにしてください。また、上に花瓶のような水が入ったものを置かないでください。</p>
	<p>警告:</p> <p>メーカーの承認なく改変を行った場合、法規への適合が無効となり製品が使用に適さなくなる場合があります。無承認の改変を行った機器の使用や、無承認の改変を行った機器の誤操作や動作不良による人体や物品に及ぼす損害に対する責任をメーカーは一切負いません。</p>
<p>FCC Statement</p>	<p>This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:</p>

	<p>Reorient or relocate the receiving antenna.</p> <p>Increase the separation between the equipment and receiver.</p> <p>Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help. Any unauthorized changes or modifications to this equipment would void the user's authority to operate this device. This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.</p>
	<p>This unit is compliant with the following CE regulations when a USB cable less than 3m is used: CEI EN 55022:2009 Class B (Radiated Emissions), CEI EN 55024:1999, CEI EN 55024:A2/2003, CEI EN 55024:IS1/2008 (Radio Frequency Electromagnetic Fields, 50Hz Magnetic Field Immunity Test and Electrostatic Discharges - ESD).</p>

	<p>本製品が使用不可能になった場合、一般ゴミとして廃棄することはできません。各自治体の所定の手続きで処理するか、(ヨーロッパでは WEEE 基準に従って) リサイクルするようにしてください。本製品が適切にリサイクルされることにより、一般ゴミとして廃棄した場合に発生する環境および健康に及ぼす悪影響を回避することができます。材料のリサイクルは自然資源の保護にも有用です。</p>
	<p>細心の注意で本マニュアルの内容が完全、正確かつ最新であることを確認していますが、これを保証するものではありません。また、内容は予告なく変更することがあります。お客様の責任で最新のマニュアルを確認するようにしてください。.</p>
<p>商標</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▪ ZeroJitter™, GalvanicInfinity™, ENclusiv™, FemtoMaster™ and ZeroResolution-Loss™ は exaSound Audio Design の商標です。 ▪ Direct Stream Digital (DSD) は、ソニー株式会社の商標です。 ▪ Apple、Mac、OS X は Apple, Inc. の商標です。 ▪ その他の商標は当該所有者に帰属します。

ようこそ

この度は、exaSound PlayPointネットワークオーディオブリッジをお買い求めいただきありがとうございます。
ます。

PlayPointは今日にあって最高レベルのネイティブ・デジタルオーディオ再生環境をご提供します。
exaSound製DACと組み合わせることで、PlayPointは限りなくゼロに近い低ジッター・低歪、低ノイズレ
ベルを実現し、驚くほどダイナミックかつクリーンなアナログライク・サウンドを可能にしました。

我々はPlayPointに、今後お客様が世界最高峰の音楽体験を楽しんでいただける手助けとなることを望んでい
ます。お手数をおかけいたしますが、わずかばかりのお時間で結構ですので、本取扱説明書をお読みになり、
正しく製品をお使いください。それこそが、お客様がした最高の投資を確実なものとするでしょう。

お客様の満足が我々の最優先事項です。

どうか心ゆくまで音楽をお楽しみください。

exaSound Audio Design

www.exaSound.com

CustomerService@exaSound.com

お使いになる前に

パッケージ内容

パッケージに以下の本体、付属品が含まれていることを確認してください:

- PlayPoint
- ACアダプター
- LANケーブル
- 取扱説明書
- Wi-Fiアンテナ (Wi-Fiサポートモデルに限る)

適切な設置方法

本体は、熱源から離れたしっかりとした台の上に設置するようにしてください。また、直射日光の当たる場所は避け、通気のため、本体の周囲に 2.5 cm (1") 以上の空間を確保してください。布の上や閉じたケース内、カーテンと接触するような場所への設置も避けてください。熱を発生するパワーアンプや他の AV 機器の上にも置かないでください。煙、高湿度、結露、水のある場所も避けてください。

最適な音響特性を発揮させるため、アナログ接続やスピーカーケーブルは極力短くしてください。ケーブルはフィルターと同じ効果を持ちますので、短いほど音響特性への影響は少なく、色付けのない音を得ることができます。

概要

PlayPointは、リファレンスグレードのネットワークブリッジ（トランスポート）です。タッチスクリーンを採用する快適なインターフェースでありながら、一切の設定が不要な簡単さを持ち、オーディオシステムからコンピューターを分離することを可能にします。

PlayPointは、exaSoundのDAC製品をホームネットワークに接続することにより、シームレスでありながら本質的な音楽体験をもたらす製品です。そのサウンドは驚くほどダイナミックかつクリーンで、限りなくゼロに近い低ジッター・低歪、低ノイズレベルを誇ります。

PlayPointは、多くのFLAC、AIFF、WAVなどのハイレゾPCM音源の再生に対応するほか、DSF、DFFを含むDSD音源の再生にも対応します。PlayPointは、ENclusiv™テクノロジーによって32bit/384kHzまでのPCMデータや、12.288MHz(4X DSD、DSD256)までのDSDデータの再生に対応します。全てのPCM/DSDデータでステレオ・マルチチャンネルを問わず再生可能です。

PlayPointは、ギガビットイーサネット／Wi-Fi／USB経由でデジタルオーディオデータを受信し、ZeroJitter™ アシンクロナスUSBプロトコルによりUSB経由でexaSoundのDACへとデータを伝送します。DAC側にはGalvanicInfinity™ USBノイズ・アイソレーション機構が搭載されており、USB端子に由来するノイズを徹底的に遮断するとともに、ZeroResolutionLoss™テクノロジーに基づくハードウェア・ボリューム調整機構が搭載され、アナログアンプへとダイレクトに信号を伝送することも可能です。

PlayPointはタッチパネル型のカラー液晶を搭載しており、本体のタッチパネルでの操作が可能であるほか、iOSデバイス、Androidデバイス、Mac、PCなどからのリモート操作も可能です。

PlayPointは、マルチレベル・デバイスとして機能し、シンプルでありながら最も先進的なネットワーク対応機器でもあります。Roon、Apple AirPlay、MPD、UPnP、OpenHome、HQPlayer Network Audio Adapterといった各種のネットワークオーディオ規格に対応するほか、ソフトウェア・アップデートによって新たなネットワークオーディオ規格に対応することができます。

TIDALストリーミングサービスはRoon経由で使用することができるほか、UPnPアプリ経由、AirPlay経由でもお使いいただけます。

PlayPointは自動アップデートやリモートサポートにも対応するなど、将来にわたってのアップデートとスマートな保守対応を実現します。

Playpointの使い方

Roon Ready プレーヤー

Roonは貴方のミュージック・ライブラリを魅力的かつ快適に閲覧することができるサービスです。PlayPointはすぐにRoonネットワーク上で発見することができ、Roon Serverが起動しているPCあるいはNASに接続することが可能です。ネットワークの特別な設定は不要で、オーディオデータはビットパーフェクトな状態でDACに伝送されます。Roonは優れたクラウド上のライブラリ・マネージメント・サービスを利用することで、ユーザーのライブラリにメタデータを自動的にもたらすとともに、ライブラリ管理の煩雑さからユーザーを開放します。また、iOS用・Android用のRoonの純正リモート・コントロール・アプリケーションにより、PlayPointを好きな場所から快適にリモート操作することができます。

RoonとexaSoundはパワフルで柔軟なネットワークオーディオの利点を最も簡単なセットアップで実現し、最高品質の音質体験をもたらします。RoonはDSD256を含む全てのハイレゾリューションなステレオ音源に対応し、将来的にはマルチ・チャンネル再生にも対応予定です。

UPnP/OpenHome プレーヤー

PlayPointは汎用性の高いUPnP/OpenHome形式のオーディオストリーミング規格に対応しています。PlayPointは「レンダラー」あるいは「オーディオ・エンドポイント」と呼ばれるプレーヤーとして利用することができます。USBドライブをPlayPointに接続すると、USBドライブの内部の音源をライブラリとするミュージック・サーバーとしても利用することができます。再生はLINNのKazooのようなOpenHome対応アプリケーションを使うことで、iPad、iPhone、Android、PC、Macなどからリモート・コントロールが可能です。その他、Bubble UPnP、Kazoo、MconnectHD、PlugPlayerその他の人気のあるアプリケーションも利用可能です。

音源はNAS、PC、Mac、Linuxコンピューターから読み取ることができます。外部のミュージック・サーバーを利用する場合には、Minim Server、Asset UPnP、Twonky Media Serverがサーバーにインストールされていることを確認してください。これらのサーバーは、マルチ・チャンネルDSD256ファイルを含むあらゆるのハイレゾ対応フォーマット、サンプリング周波数をPlayPointで再生可能であることをテスト済みです。外部のミュージック・サーバーを利用してハイレゾ音源を再生する場合には、ギガビットイーサネットに対応する高速かつ安定したネットワークが必要です。無線LANでの接続の場合には、最高レベルの性能を有するtri-band 805.11AC対応無線LANルーターをご利用ください。

ネットワーク・オーディオ・アダプター for HQPlayer

PlayPointはSignalyst HQPlayerのNetwork Audio Adapter (NAA)プロトコルに対応しています。本機能によって、HQPlayer側でアップサンプリング・アップコンバージョン処理を行った後、演算済みデータをネットワーク経由でPlayPointに送ることが可能になります。

MPD プレーヤー

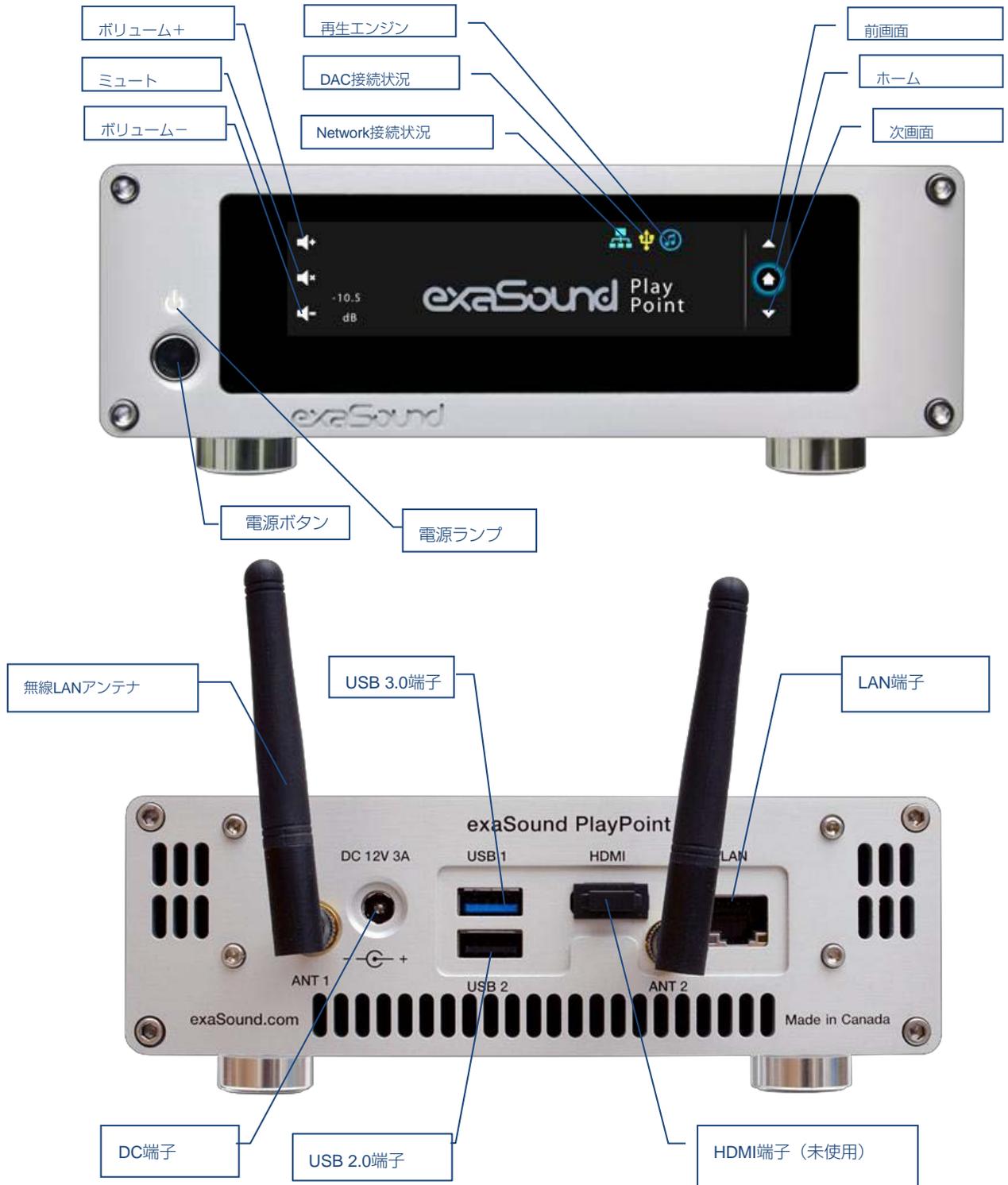
PlayPointのポテンシャルを最大限に享受する簡単な方法として、音源を保存したUSBハードディスクをPlayPointに接続し、PlayPointのコントロールをMPaD / MPoDをインストールしたiOSデバイスの組み合わせで行う方法があります。ローカルのUSBハードディスクを使うことで、ホームネットワーク上の帯域幅の使用量を減らすことができます。このモードはサンプリング周波数、ビット数、チャンネル数を問わず全てのPCMおよびDSDのフォーマットに対応します。MPaD / MPoDのほかにも、PlayPointは多くのMPDクライアントに対応します。

AirPlay プレーヤー

AirPlayは人気を博し便利にお使いいただけるストリーミング・プロトコルです。AirPlayはPlaypointを各種のストリーミングサービスと連携させたり、iTunesのライブラリと連携させたりといったことを簡単に実現します。

注意：PlayPointにおいて、AirPlayプロトコルは他のプロトコルと比べて仕様上の制限事項がいくつかあります。AirPlayはステレオのCD品質のオーディオ・フォーマットをサポートしますが、DSDやハイサンプリングレート、ハイビットのPCMデータはサポートしていません。また、ボリューム・コントロールにも制約があります。Appleは頻繁にAirPlayの規格をアップデートしており、PlayPointで発生するこうした互換性の問題も将来解消される可能性があります。

フロントパネルおよびリアパネル

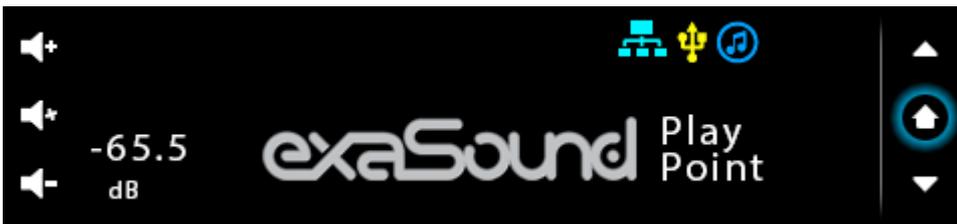


クイックスタート

1. ACアダプターを電源コンセントと本体に接続してください。
2. Wi-Fiアンテナを本体に取り付けてください。
3. PlaypointとホームネットワークとをLANケーブルで接続してください。
4. PlayPointとexaSound製DACとをUSBケーブルで接続してください。
5. PlayPointのフロントパネルにある電源ボタンを押してください。電源インジケータが光ります。数秒経過すると、下図のようにexaSoundのロゴが表示されます。



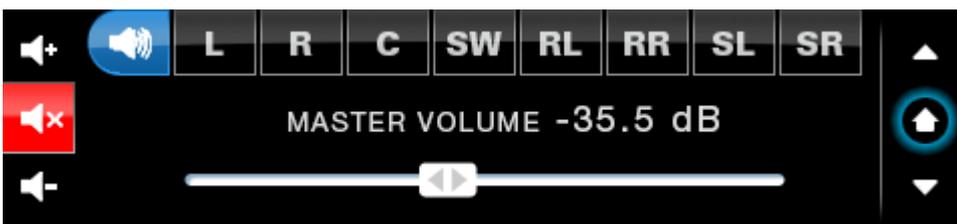
6. 約30秒経過後にスクリーンが点滅し、下図のようにホームスクリーンが表示されます。3つのアイコンが表示され、ネットワークの接続状況、USBデバイスの接続状況、オーディオエンジンの動作状況を表示します。



7. スクリーンの右側がナビゲーションボタンになります。上ボタンを1度押すと、下図のようにボリュームコントロールスライダーが表示されます。マスターボリュームの操作とボリュームごとのトリムを行うことができます。

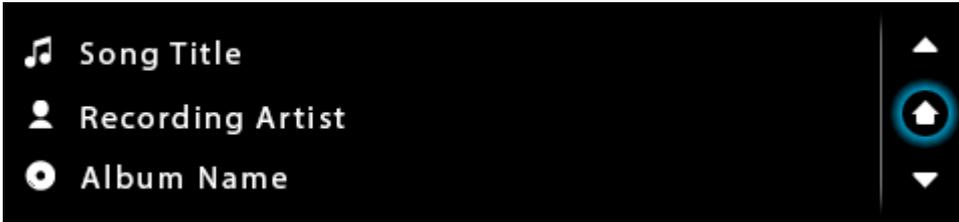


ステレオDAC用ボリュームコントロール画面



マルチチャンネルDAC用ボリュームコントロール画面およびミュートON状態

8. 下ボタンを1度押すと、下図のように再生中のデータについてアルバム名、アーティスト名、曲名が表示されます。

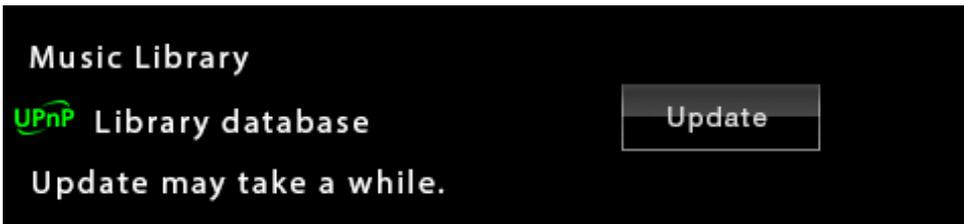


9. 最初にDAC、(もし使用中であれば)次にプリアンプ、最後にパワーアンプの順に電源を入れてください。

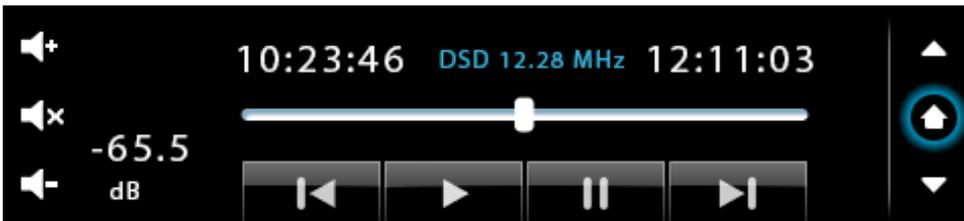
10. DACのボリュームレベルが安全な領域であることを確認してください。

11. PlayPointを使う最も簡単な方法は、Roon経由で操作する方法です。PlayPointはRoonのセッティングメニュー上に、「exaSound-PP1」といったかたちで表示されます。Roonの設定の詳細については、Webサイト上のクイックスタートマニュアルをご確認ください。

12. PlayPointを操作する他の方法としては、KazooがインストールされているiOSデバイスを使った方法もあります。PlayPointにUSBストレージを接続してください。初回起動時に、音楽ファイルが自動的にスキャンされますが、必要に応じて、手動で音楽ファイルのスキャンを実施することも可能です。

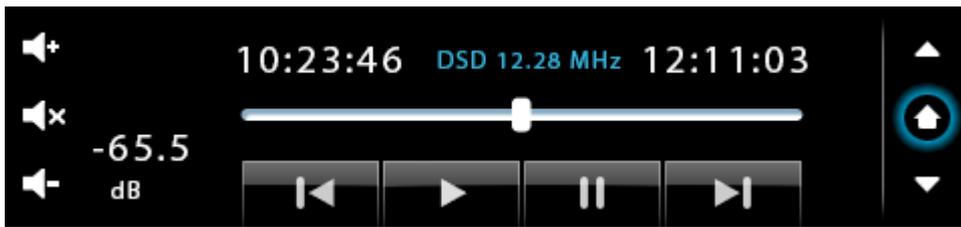


Kazooの設定を変更し、PlayPointを再生デバイスに設定するだけでなく、サーバーに設定することもできます。Kazooの設定の詳細については、Webサイト上のクイックスタートマニュアルをご確認ください。

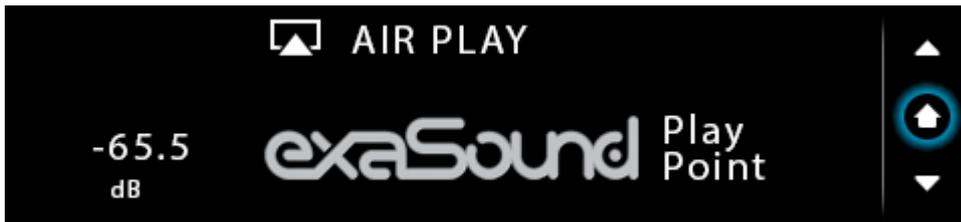


13. PlayPointはSignalystのNetwork Audio Adapter (NAA) プロトコルもサポートしています。HQPlayerによる精神的なアップサンプリング処理やPCM to DSD変換機能を活用することができます。HQPlayerの設定の詳細については、Webサイト上のクイックスタートマニュアルをご確認ください。

14. 他の簡単な使い方としてはMPaDまたはMPoDとしてPlayPointを使う方法があります。この場合操作はMPaDまたはMPoD用アプリをインストールしたiOSデバイス経由で行います。音源の入っているUSBハードディスクをPlayPointに接続してから、MPaD / MPoDを「exaSound-PP1.local」に接続してください。MPDを使う場合、アプリケーションの仕様によりファイル名の表示などに特有の制限があります。

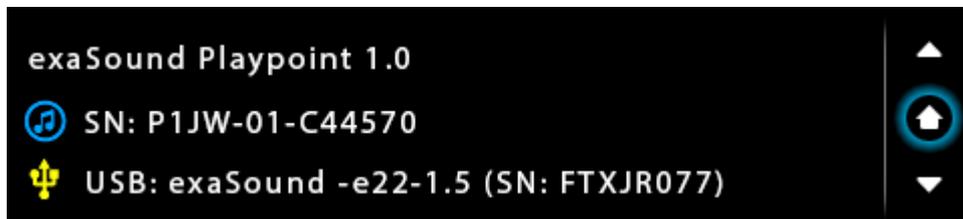


15. 他の簡単な使い方にAppleのAirPlayで操作する方法があります。初期設定では、PlayPointは「*exaSound-PP1*」としてAirPlay対応デバイスに表示されます。AirPlayで接続された場合には、下図のように表示されます。



デバイス情報

下ボタンを押すと、下図のように製品名、シリアル番号、接続しているexaSound製DACの製品名とシリアル番号が表示されます。



Zero-Configuration ネットワーク機能

PlayPointをLANケーブルでホームネットワークに接続する場合、PlayPointの設定は必要ありません。安定したハイレゾ音源の再生のために、必ずギガビットイーサネットによるホームネットワークを用意してください。また、PlayPointが自動的にIPアドレスを取得できるよう、ルーターのDHCP機能を有効にしてください。

通常、PlayPoint本体にアクセスするためにIPアドレスを利用することはありません。Mac、携帯電話、タブレットからは、自動的にPlayPointが見えるようになっています。また、初期設定では、ホームネットワーク上に「`exaSound-PP1.local`」が見えるようになっています。もしWindows PCをお使いの場合で、PlayPointがホームネットワーク上に見あたらない場合には、zero-configuration networking (zeroconf)と互換性のあるAppleの[Bonjour](#)サービスをインストールしてください。Linuxの場合には、[Avahi](#)をインストールしてください。

下ボタンを押下すると、下図のように「Select Network」画面が表示されます。LANケーブルが接続されていると、以下の例のように表示されます（IPアドレスは環境ごとに異なります）。



ワイヤレス接続を行う前に、WPSの設定を完了してください。

ワイヤレス・プロトコル・セットアップ (WPS) 設定

1. Webブラウザからお使いのWi-Fiルーターの管理画面にログインします。
2. SSIDが有効になっていることを確認します。
3. Macアドレス認証が無効になっていることを確認してください。
4. WPSが有効になっていることを確認してください。
5. プッシュボタン式登録モードが有効になっていることを確認してください。
6. セキュリティモードをWPA2-PSK (AES)に設定してください。

以下の画像はルーターの設定画面の例です。WPA2-PSKになっていることを確認してください。WPSが有効になっていること、プッシュボタン式の登録モードであることを確認してください。



Primary Wireless Settings
Connecting to the Primary Wireless network will allow connected devices access to your shared network devices and to the Internet.

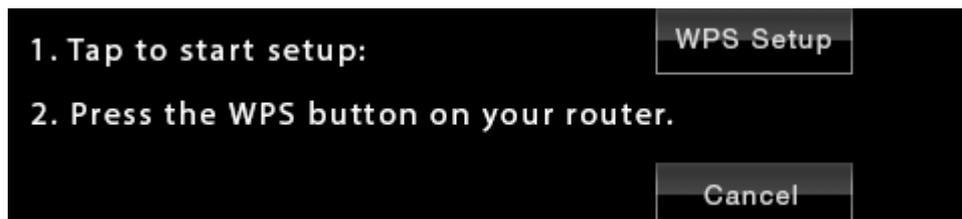
Primary Wireless Network:	<input checked="" type="radio"/> Enable	<input type="radio"/> Disable
Broadcast Primary SSID:	<input checked="" type="radio"/> Enable	<input type="radio"/> Disable
SSID:	<input type="text" value="BELL-123"/>	
Password:	<input "="" type="text" value="MyPassword:)"/>	
Security Mode:	<input type="text" value="WPA2-PSK (AES)"/>	
WPS:	<input checked="" type="radio"/> Enable	<input type="radio"/> Disable
Registration Mode:	<input checked="" type="radio"/> Push Button	<input type="radio"/> Pin Number

7. ナビゲーションボタンを押して、ネットワーク設定画面を表示してください。

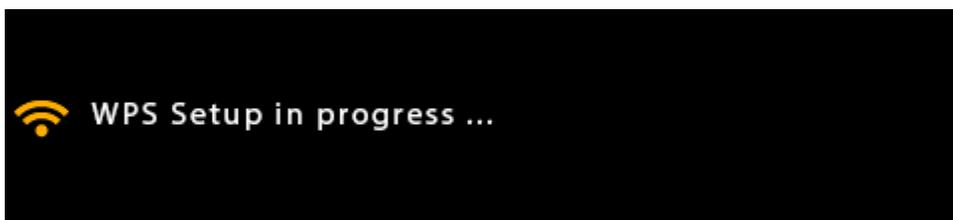


「WPS Setup」をタップしてください。

8. 以下のような画面に切り替わりますので、「WPS Setup」をタップしてください。



9. 「WPS Setup in progress」が表示されたら、ルーターのWPSボタンを押してください。数分でWPS設定が完了します。



10. PlayPoint本体画面が以下のように表示されます。DHCP機能により、IPアドレスが振られるのに数分かかる場合があります。

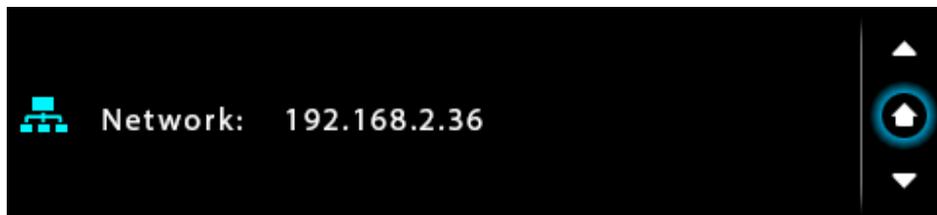


有線LANと無線LANの切り替え

PlayPointが同時に接続できるネットワークはひとつのみです。有線LANと無線LANを切り替える場合には、「Select Network」画面の「Start/Restart」を押して切り替えてください。PlayPointは再起動し、新しいネットワーク設定を有効にします。新しいネットワーク設定が有効になった場合には、リモート・コントロール用アプリケーションの再起動が必要です。

無線LAN機能非搭載モデルの設定

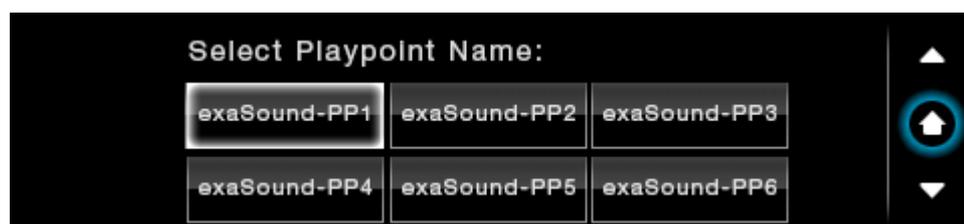
もしお客様が、無線LAN非搭載モデルを購入された場合には、ネットワーク設定画面は有線LANによりPlayPointに割り当てられたIPアドレスのみを表示します。



マルチルーム設定

複数のPlayPointがホームネットワーク上にある場合には、それぞれの固有の名前を割り当てる必要があります。「Select PlayPoint Name」画面で各PlayPointに異なる名前を指定してください。

1. 「Select PlayPoint Name」画面に遷移すると、下図のように現在のPlayPointの名前がハイライト表示されます。



2. 予め設定されている6つの名前のなかから任意の名前を選んでタップします。

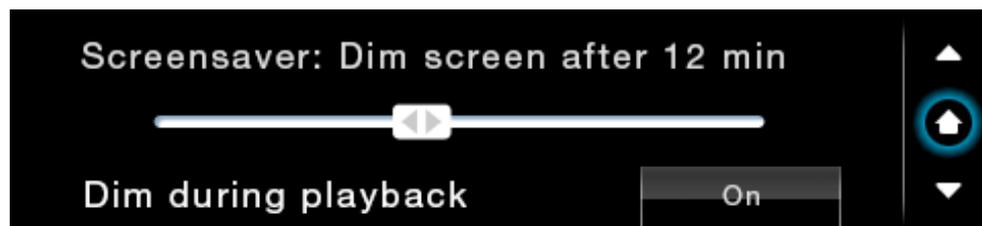
3. PlayPointが再起動します。

4. PlayPoint再起動後は、リモート・コントロール用アプリ上からPlayPointに再接続する必要があります。

スクリーンセーバー設定

PlayPointの画面は5分間操作されない状態が継続すると、自動的にオフになるよう設定されています。この際、電源インジケータは点灯したままになります。画面がオフになっている場合、画面のどこかにタッチすると、画面がオンになります。

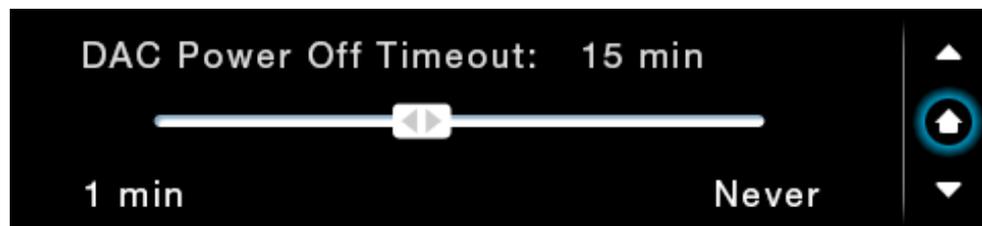
スクリーンセーバー設定画面で、何分操作しないと電源をオフにするかをスライダーで設定することができます。



「Dim during playback」オプションがオフになっている場合には、再生中のスクリーンセーバー機能は無効となり、画面は点灯したままになります。再生中は画面を消灯したい場合には、設定をオンにしてください。

DAC自動電源オフ機能

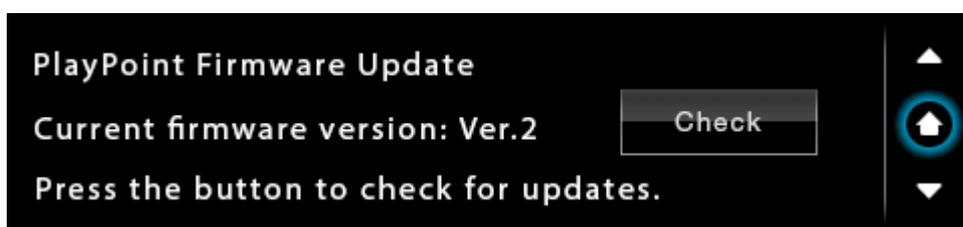
最新世代のexaSound製DACは、一定時間信号が入力されなかった場合に省電力モードに遷移する機能を搭載しています。「DAC Power Off Timeout」画面で、DACが省電力モードに遷移するまでの時間を設定することができます。



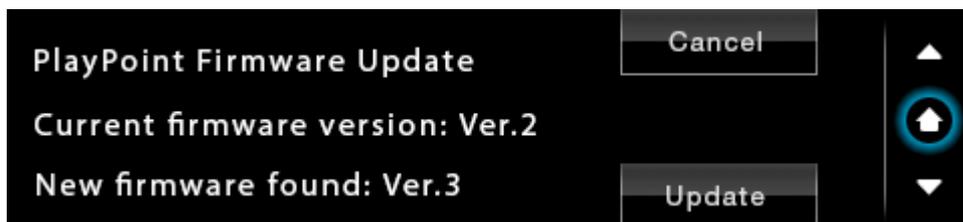
スライダーを右端まで動かすと、本機能がオフになります。

ファームウェアアップデート

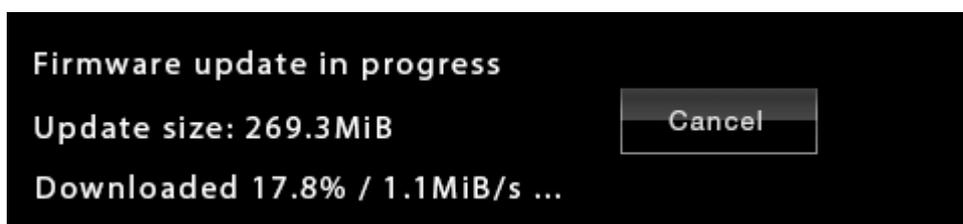
1. USBストレージをPlayPointに接続している場合には、取り外してください。USBストレージが接続されていると、正常なアップデート処理を妨げる虞があります。
2. PlayPointのACアダプターが確実に接続されていることを確認してください。
3. PlayPointがホーム・ネットワークに確実に接続されていること、およびインターネット接続環境が安定していることを確認してください。
4. 上ボタン/下ボタンを使い、下図のように「PlayPoint Firmware Update」画面に遷移してください。遷移後「Check」ボタンをタップしてください。



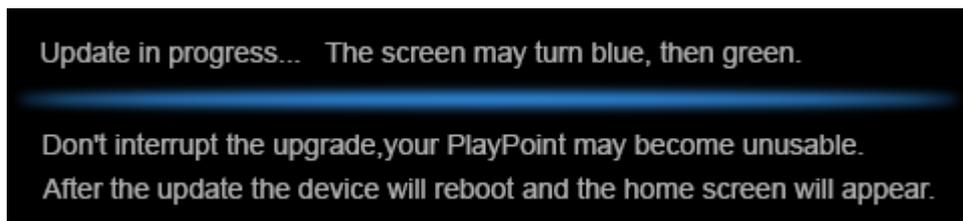
5. 新しいファームウェアが利用可能な場合、下図のように「Update」ボタンが表示されます。「Update」をタップしてください。



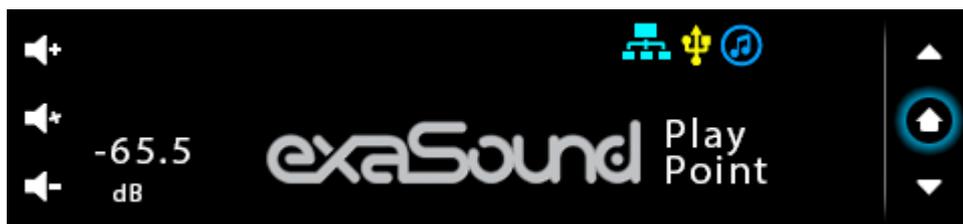
6. 下図のように「Firmware Update in Progress」と表示されると、アップデート処理が開始されます。アップデート処理中は絶対に電源ボタンに触れたりせず、アップデート処理を中断しないように注意してください。



7. アップデート処理が完了するまでの間、PlayPointは2回再起動を繰り返します。

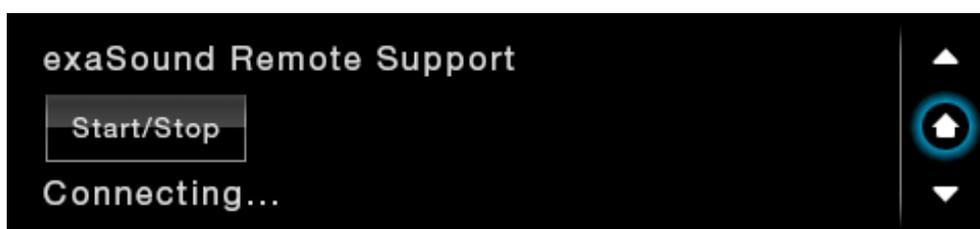
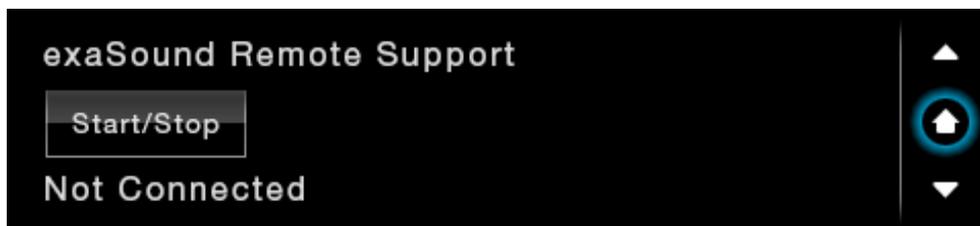


8. update処理が完了すると、下図のようにホーム画面が表示されます。

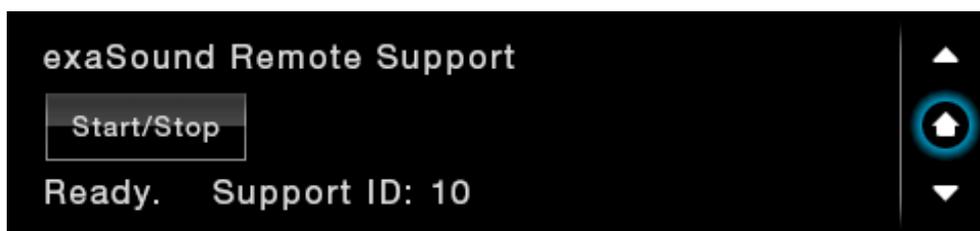


リモートサポート

リモートサポート機能は、exaSoundの技術者がお使いのPlayPointのトラブル・シューティングとエラーログの確認を行う際に利用します。本機能は、PlayPointのオーナーが手動で「Start/Stop」ボタンを押して明示的に許可した場合のみ有効になります。



接続を確立するのに約10秒必要です。



リモートサポートを受けるには、サポートIDの発行が必要です。サポートIDはサポート用システム上でお使いのPlayPointを特定するために使われます。

ボリューム調整

PlayPointは、ZeroResolutionLoss™テクノロジーによりexaSound製DACのハードウェア・ボリュームを直接操作することができます。ボリューム・コントロールはES9018S DACチップに内蔵されており、S/N比wを最大限確保します。音量は0.5dBステップで調整することができます。

音量は以下の4つの方法で操作することができます。

1. iOSデバイスまたはAndroidデバイスからリモートで操作することができます。MPDクライアントやUPnPのコントロール・ポイントが利用可能なほか、AirPlayのボリューム・コントロール機能も利用可能です。
2. PlayPointの画面から操作することができます。マスターボリュームのほか、左右独立して音量を調整することも可能です。

ステレオ・チャンネルのDACの場合、以下のように表示されます。



マルチ・チャンネルのDACの場合、以下のように表示されます。（ミュートON時）



3. DACのフロントパネル部にある物理ボタンで操作することができます。
4. DACの赤外線リモコンから操作することができます。

以上のとおり、PlayPointは4つのボリュームシンクロ機能があります。どの方法で音量を調整してもかまいません。音量はDACの画面に表示されるとともに、PlayPointも同期して表示します。

音声出力は、ホーム画面の「Mute」ボタンを押すか、DAC用の赤外線リモコン上の「Mute」ボタンを押すと消音されます。再度「Mute」ボタンを押すと、元の音量に戻ります。

注意：AirPlayでもPlayPointの音量調節が可能です。まれに調節がうまく反映されない場合があります。これは、AirPlayのボリューム調節機能が他のプロトコルと比べてやや精密さを欠くためです。

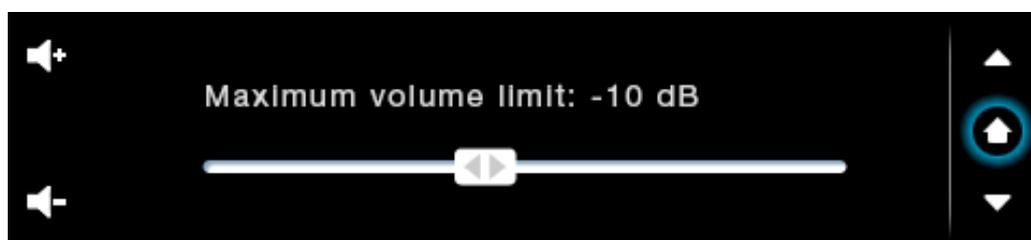
ボリューム・バイパス機能

音量が0dBに設定されている場合、ハードウェア・ボリューム機能はオフになり、PlayPointはexaSound製DACをボリューム・バイパス・モードに設定します。ボリューム・バイパス・モードに設定するためには、以下の方法があります。

- 音量を0dBにする
- PlayPointの画面で左右のボリューム・スライダーを0dBにする
- マルチ・チャンネルDACの場合全てのボリューム・スライダーを0dBにする

最大音量設定

「Maximum Volume Limit」設定は、再生音量が大きくなりすぎないように、事前に最大音量に制限を加える機能です。



外部USBメモリ/ハードディスクの使い方

PlayPointのUSB 3.0端子はUSB 3.0規格に対応するHDDやSSDをサポートします。電源供給能力は500mAまでです。USB 2.0規格のストレージもサポートしていますが、転送速度の点から推奨しません。

PlayPointにUSBストレージを接続する前に、「Recycle Bin」または「Trash」フォルダのファイルを空にしてください。空になっていない場合、PlayPointが当該フォルダの中のメディアファイルを検出してしまい、メディアファイルに含めてしまいます。PlayPointのメディアライブラリは接続されているUSBストレージに保存されているものに限り有効です。これらの音楽ファイルにアクセスする方法は以下の3通りになります。

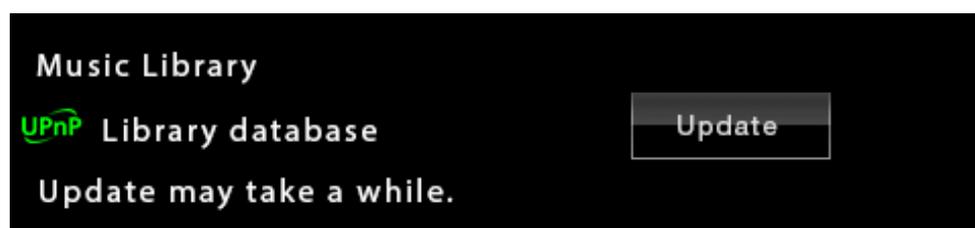
Roonを使う

Roon ServerがPlayPointにインストールされている場合、接続されているUSBストレージは自動的にスキャンされ、Roonのミュージック・ライブラリが構築されます。スマートフォンまたはタブレットのRoon Remoteアプリからライブラリの構築状況を確認することが可能です。Roon Remoteを起動し、設定画面からストレージ・タブを選択すると、USBストレージの内容を確認することができます。

UPnPを使う

USBストレージが最初にPlayPointに接続された際に、メディアファイルが自動的にスキャンされます。PlayPointはUPnPライブラリ（データベース）をメタデータおよびアルバム・アートに基づき構築します。大きな容量のUSBストレージを読み込ませた場合、ライブラリの構築には10分から15分程かかります。ライブラリの構築中は、USBストレージのアクセスLEDが点滅します。

USBストレージに記録されている音楽ファイルを追加したり削除したりした場合には、ライブラリのアップデートが必要です。「Music Library」画面の「Update」ボタンを押して、USBストレージのアクセスLEDの点滅が終わるのを待ちます。



MPDを使う

MPDライブラリ（データベース）は自動的に構築されません。MPDクライアント上でライブラリの構築とアップデートが必要です。詳細については、Webサイト上のクイックスタートマニュアルをご確認ください。

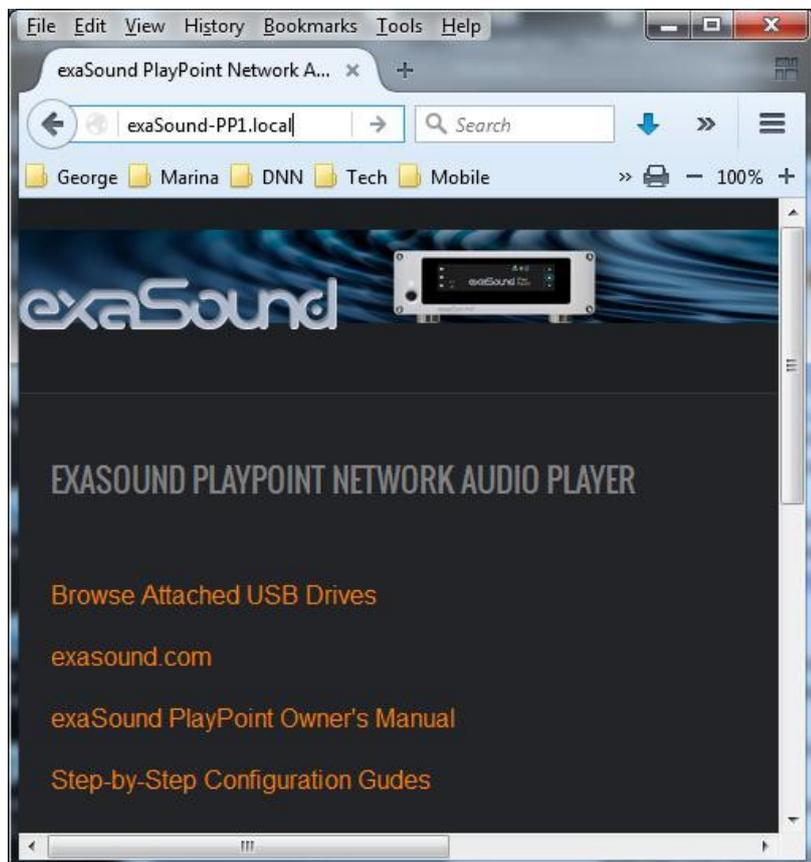
USBストレージの操作中にデータが破損することを防止するため、USBストレージは読み取り専用モードに設定することを推奨します。また、USBストレージを取り外す場合には、PlayPointの電源をオフにしてから取り外すことを推奨します。



必ず音楽ファイルのバックアップをとってください。exaSoundはPlayPointの使用により発生したデータの消失・破損について一切の責任を負いません。音楽再生中は絶対にUSBストレージを取り外さないでください。

PlayPointのサーバー領域とUSBメモリ/ハードディスクの参照方法

PlayPointにWebブラウザからアクセスすると、PlayPointの情報を参照することができます。URLはPlayPointに設定されている名前に準拠します。初期設定では、「exaSound-PP1.local」になります。また、「Network」画面で表示されているIPアドレスを直接入力してアクセスすることも可能です。



PlayPointのサーバー管理画面から「Browse Attached USB Drives」を選択すると、PlayPointにマウントされた「/Music/USB」直下のディレクトリを参照することができます。

仕様

D/A コンバーター IC:	ESS Technology ES9018S Sabre32 Reference DAC
サンプリングレート - 非同期 USB ASIO:	PCM: 44.1kHz、48 kHz、88.2 kHz、96 kHz、176.4 kHz、 192 kHz、352.8 kHz、384 kHz DSD: 2.84MHz, 3.072MHz, 5.68MHz, 6.144MHz, 11.28MHz, 12.288MHz.
サンプリングレート - SPDIF 同軸 IN 1:	PCM 44.1kHz、48 kHz、88.2 kHz、96 kHz、176.4 kHz、 192 kHz
サンプリングレート - SPDIF 光 IN 2:	PCM 44.1kHz、48 kHz、88.2 kHz、96 kHz
全高調波ひずみ + ノイズ:	0.000202% @ 1KHz、0dBFS
相互変調ひずみ:	-140dB / 0.00001 % @ 19KHz + 20KHz 0 dBFS 2 次 IMD
SN 比:	128 dB, A-weighted、2 Vrms
DAC マスタークロックジッター:	0.082 psec(82fsec) rms
周波数応答:	0 Hz - 20 KHz (-0.15dB)
位相:	非反転
チャンネルセパレーション:	130 dB @ 1KHz
デジタル入力:	USB 2.0、SPDIF 同軸、SPDIF TOSLINK (光)
チャンネル数:	2
オペレーティングシステム要件:	Windows 8 x86、Windows 8 x64、Windows 7、Windows XP x86 (Windows では ASIO 互換プレーヤーが必要です) Mac OS Mavericks, Yosemite

デジタル音量調整ステップ:	0.5 dB
チャンネル間音量差:	0.1 dB 以内
ライン出力:	バランス (XLR)、アンバランス (RCA)、金メッキ
ライン出力レベル:	14 Vrms (バランス)、2 Vrms (アンバランス)
ライン出力インピーダンス:	200 オーム
ライン出力オフセット:	< 5 mV
ヘッドホンアンプ電流出力:	500 mA ピーク
ヘッドホンアンプ出力インピーダンス:	0.5 オーム、20Hz - 20KHz
ヘッドホンアンプ出力:	0 - 7.6V
ヘッドホンアンプ THD + N:	0.001142%、60 オーム負荷に 1 Vrms 入力時
ヘッドホンジャック:	1/4 インチ TRS SE
消費電力:	< 20 W
寸法 (W x H x D):	6.5 x 2.2 x 9.25 インチ (165 x 55 x 235 mm)
Weight:	2.4 lbs (1.1Kg)

オープンソースに関する表示

We make extensive use of open source software for the various technologies, architectures, and interfaces that run on the exaSound PlayPoint. In fact, we would be unable to offer the device as we envision it, at the current price, without these publically developed projects. The credit roll is available on the PlayPoint Web Interface: <http://exaSound-PP1.local>.

GNU General Public License (“GPL”)

Firmware incorporated into this product may include third party copyrighted software licensed under the GPL or Lesser General Public License (“LGPL”) (collectively, “GPL Software”) and not exaSound's Terms of Use available at <http://www.exasound.com/Store/TermsOfUse.aspx>. In accordance with the GPL, if applicable: 1) the source code for the GPL Software may be downloaded at no charge from <http://support.exaSound.com>. Contact Customer Support for further information; 2) you may re-use, re-distribute, and modify the GPL Software; 3) with respect solely to the GPL Software, no warranty is provided, to the extent permitted by applicable law; and 4) a copy of the GPL is included herewith, may be obtained at <http://www.gnu.org/licenses/gpl-3.0.en.html>, and may also be found at <http://support.exaSound.com>.

Modification of or tampering with the Software, including but not limited to any Open-source Software, is solely at your own risk. exaSound Audio Design is not responsible for any such modification or tampering. exaSound Audio Design will not support any product in which you have or have attempted to modify the Software supplied by exaSound Audio Design.

※ 本項目はライセンスに関わるため、原文のまま掲載します。